

# 被災地での活動の実際

## ～能登半島地震での派遣を振り返って～

避難所での活動  
石川県珠洲市正院小学校での活動の実際

---

新潟白根総合病院  
救急看護認定看護師  
志田朝幸

能登半島地震  
における災害  
支援ナースと  
しての活動

- **【派遣期間】** 2024年1月18日～21日  
(発災後17日目～20日目)
- 日本看護協会 (新潟県看護協会)
- 災害支援ナース第3班として派遣
- 実質の活動期間は3日間
- **【活動場所】**
- 珠洲市正院小学校

# 派遣前の準備

- 2023年11月17日新潟県看護協会にて新型コロナなど新興感染症に係る看護職員等確保事業 新潟県災害支援ナース養成研修修了
- 震災発生後、震災のニュース報道に常に関心を持ち心構えしていた。
- 1月上旬に新潟県看護協会より派遣打診あり、4パターンの日程が提示される。
- 1月10日、新潟県看護協会より正式な派遣依頼あり。
- 新聞やインターネット等で情報収集、携行物品準備
- 親、家族、友人に連絡（緊急以外の電話はしないように伝える）



1月17日  
新潟出発から現地入りまでの行程

- 1月17日自宅から前泊する宿泊施設まで自家用車で移動
- 1月18日に自家用車で集合場所の金沢駅10時集合
- 新潟メンバー2名、東京メンバー2名
- 顔合わせ、自己紹介
- 金沢駅より日本看護協会が準備するマイクロバスで派遣先へ移動
- リーダー、サブリーダーの選出、日本看護協会のチャットワーク（連絡調整）を利用し情報共有



## 珠洲市正院小学校

固定電話不通  
携帯電話通話可能  
FAX不通  
電気復旧  
水道不通





DOCTOR ONLY





# 災害支援ナース4名の勤務シフト決定

- 日勤～消灯まで+（オンコール番2時まで）
- 2時（オンコール番）～日勤まで



## 活動の実際①

- 活動1日目午後より（1月18日）
  - 熊本保健師より避難所での問題点等の情報共有
  - 避難所内外の状況確認
  - 避難者の健康維持活動
  - 支援物資、薬剤の確認
- 
- 前班メンバーからの申し送りで健康観察継続者のバイタルサインチェックと他の避難者の健康観察を行った。各部屋の換気や車中泊者にはエコノミークラス症候群防止の声かけを行った。避難所内で飛散したガラスなどの危険個所の把握をし明日の作業等の検討をした。

## 活動への実際②

- 活動2日目（1月19日）
- 避難所内外の環境整備
- 有症状者の対応
- 衛生環境保持の活動
- 飛散したガラスの片づけと飛散防止のためのガラス戸の補強作業、段ボールベッド作成した。
- 次亜塩素酸ナトリウム溶液の作成方法の説明を受け簡易トイレの清掃
- 寒さのため各部屋で換気が不十分であり定期的な換気をし暑い部屋もあり室温度計の設置を本部へ提案した。

## 活動への実際③

- 活動3日目（1月20、21日）
- 避難者の健康維持増進活動
- 避難所内外の環境整備
- 衛生環境保持の活動
- 避難者生活支援
- 有症状者のPWJ（特定非営利活動法人ピースウィングス・ジャパン）への受診説明、受診介助
- 食事指導
- 内服薬の相談（一包化の再調整依頼等）
- 厚労省からの医薬品についての説明
- 民生委員の方からシルバー体操して頂く

# 支援活動のまとめ

- 活動に当たってはリーダーを担うことになり、避難所の運営・管理と避難者の生活および健康管理について評価し、継続支援の基礎を作ることが目標に活動した。
- 医療の不十分な中、調整本部の方々が自律して活動されており、感染症対策や衛生管理が行き届いていたと評価できた。
- また、有症状者の重症化予防、感染症対策、段ボールベッドの作成、設置など派遣メンバーの看護の視点を生かし活動ができた。
- 避難者の緊張感、不安感の思いも傾聴しながら「何でもする」のではなく常に協働することを心がけながら行動した。
- 何よりも強い体力と精神力が必要

# 支援活動を終えて

- 帰還翌々日より通常勤務に復帰
- 部署内での報告会
- 出張報告書記載
- 2024年3月、新潟県看護協会「令和6年能登半島地震新潟県災害支援ナース活動報告会」での発表



ご静聴ありがとうございました

